

陽平だより

天理教陽平分教会
出雲市平田町7638
0853-63-2806

「子は親の背中を見て育つ」

7月、双子の孫が4歳を向かえました。毎日、楽しく保育所に通い、兄や姉といつも仲良く遊んでいます。けんかもしているようです。どこで覚えたのか、「ひとりざけえ、てじやくざけえ、えんかをききながらあ〜♪」と歌っていて、思わず笑ってしまいました。

「三つ子の魂百まで」ということわざがありますが、小さい子供は、親の姿や言葉をすぐに真似をし、身につけます。良いことも、悪いことも小さい頃に身につくものです。

今年も、「こどもおちばがえり」では、「生きるよろこびを味わいます」「ものを大切にします」「仲良くたすけあいます」の三つの約束を、行事を通して、楽しみながら学びました。

小さいころは、心が澄んで、何でも吸収するときだからこそ、親として、大人として伝えたいものです。そのために、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんが、日々に心がけましょう。

して見せて、言って聞かせて、共にして、褒めてあげて、育てましょう。



～8月の予定～



こどもおちばがえりの思い出

7/30～1日	こどもおちばがえり 雲陽団体
1日(水)	陽 平 例祭
4日(土)	青年会 ハートクリーンキャンペーン
10日(金)	檜 岡 月次祭
15日(水)	陽 平 月次祭
20日(月)	雲 陽 月次祭 ・ 炊事当番
24日(金)	大教会 月次祭
26日(日)	おちば 月次祭 ・ 陽平 遥拝式
25～26日	おちば 先達のつどい 教会長子弟子女のつどい





～暮らしに生きる～

おや 教祖のお言葉

かみ ふか もつ
「神に深きいんねんあるを以て、

かみ ひ よ ほど
神が引き寄せたのである程に。」

きょうそでんいつわへん
教祖伝逸話篇十一「神が引き寄せた」

妻の身上(病気)のたすけを願い出た男性に対し、^{おやさま}教祖が出されたお言葉です。

「病気は案じる事は要らん。直ぐ救けてやる程に。」

と、続きます。また、おふできき(天理教原典)には、

なんどき かえ き めいめい ころ さら おも
「何時に、帰りて来ても銘々の、心あるとは、更に思うな」

とあります。

(11号78)

多くの場合、私たちは自分の考えで、おぢばがえりをしたり、教会に参拝したりします。

しかし、どれだけ「おぢばに帰りたい」と思っても、体調が悪かったり、都合がつかなければ、おぢばに帰ることはできません。反対に、「そんなところ行きたくない」と思っても、行かざるをえない場合もあります。自分の意志でそうしたように思っても、本当は、神様がお引き寄せ下さって、おぢばや教会につながっているのです。

^{おやがみさま おやさま}
親神様、教祖は、私たちがおぢばに帰ってくるのを楽しみにお待ち下されています。
おぢばにかえり、日々けっこうにお連れ通り頂いているお礼を申し上げます。

^{おやがみさま おやさま}
親神様、教祖から、すてきな土産が頂戴できるにちがいありません。

お願い

8月20日(月)

雲陽 月次祭

陽平が炊事当番です。

多数、ご参拝頂きます様
よろしくお願い申し上げます。

ご案内

おぢばがえり陽平団体

① 9月16、17日

② 10月7、8日

現在、計画中です。
ご検討下さい。

ハートクリーン キャンペーン

日時:9月17日(月・祝)

午前10時から

場所:医大駐車場

内容:ゴミ拾い

一緒に参加しませんか?